



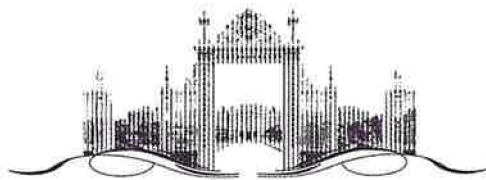
Rotary International

ROTARY SHARES

ロータリーは分かちあいの心

2007～2008 年度

国際ロータリーテーマ:ウィルフリッド J.ウィルキンソン会長



Rotary Club of Tokyo-Akasaka

赤坂

東京赤坂ロータリークラブ

No.969 / 2007.9.28

例会 / 毎週金曜日12:30

例会会場 / ANAインターコンチネンタルホテル東京
Tel 03-3505-1111

事務局 / 〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「広げよう友の輪、分かちあおう喜びを！」

2007～2008年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ / 小原健会長

●本日の例会 / 2007年9月28日 第992回例会

イニシエーションスピーチ

当クラブ会員 内田 憲三 君

(日本オイルポンプ株式会社 代表取締役)

— ●先週報告 / 2007年9月21日 第991回例会 —

◎卓話:『フルート演奏とトーク』

フルート奏者 Nikkos Bifaro Vincenzo 氏
(ニコス ビファロ ヴィンチェンゾ)



会長報告:

◎ 会長より増強賞・スポンサーピン贈呈

*地区より新会員を
スポンサーした会員へ
贈呈されます。

田村昭二君

(實藤政子君をご紹介)



出席報告:

会員54名 / 出席25名・欠席29名(出席規定免除者5名)

ゲスト / ニコス・ビファロ(卓話)、ヴィンチェンゾ・
イリアーナ(ニコス氏奥様)、橋本啓子、倉
沢邦夫・蒼生子 計5名(順不同・敬称略)

ガバナー補佐公式訪問第3回クラブ協議会(先週の続き)

(2) 社会奉仕委員会・意見交換

尾上委員長:

1. 青少年交換学生受入れについての現状

国際親善の柱として毎年外国から10名、日本から
10名の交換学生が行き来しています。しかしながら例
年、下記の問題が出ています。

①ホストファミリーの困難性 ②来日学生の生活態度
とエチケットの低下 ③クラブ費用負担の不均等

又、本年度痛感した事は、来日直前でなければ本人の
プロフィールが分からない事です。

そこで本日はホストファミリー対策について意見交
換をして頂きたい。ホストファミリーは原則として
ロータリアンの家庭であるべき。しかし「青少年交換
要覧」には、必ずしもロータリアンでなくても良い旨
が記されており、但しホストクラブは従来通りにカウ

ンセラーとホストファミリーを明確に定め、どこに預
けても全責任を持ってホストする事になっています。

(受入期間) 7月下旬～6月中旬(1年間) (性別) 女子
(言語) 英語圏 (語学力) 日本語の簡単な日常会話なら
話せる。(ホストファミリー受入期間) 2ヶ月～3ヶ月位

馬場会員:

「姉妹クラブ・友好クラブの情報収集について」

1. 「姉妹クラブ・友好クラブ」とは

2. 当クラブの合意の形成

姉妹クラブ・友好クラブ(以下まとめて友好クラブと
いう)の提携は「国際親善」「国際理解」「視野や自覚を
広げ、高める」等前向きに捉え、RIでも地区でもこれ
を推奨しているが、他面、提携をすると(期限を定める
のが通例)継続しなければならないし、多々起こる諸問
題をその度克服していかないとはいけない。また、いろ
ろ出費もかかることは言うまでもない(利点・欠点)。

3. 相手クラブの選定 / 他地区内(国外・国内)か同地区 内か

4. 提携のための情報源

①当クラブ内から イ. 会員の個々の活動の中から
ロ. クラブの活動の中から ②地区から ③その他

5. クラブ付き合いをして熟して提携(実質→形成) マッ チング・グランド

(4) 国際奉仕委員会・意見交換

地区インターンシップ委員会 荒木昭文委員:

1. インターンシップとは

近年、新規高校卒業者の就職状況は、産業構造の変化
や景気の低迷等により、非常に厳しい状況の下で、高校
生には人間関係形成能力、進路選択能力、意思決定能力
など、社会人・職業人としての基礎的な資質及び能力の
育成が強く求められています。インターンシップは、
高校生が職業の現場における実践的な知識・技能に触
れることを通して、望ましい勤労観・職業観を育成出来
るようにする教育活動です。東京都教育委員会のイン
ターンシップの事業の取り組み状況は、平成11年度の
20校から実施校は年々増加し、平成17年度は都立高校
205校中115校、実施率56%に、全国の公立高校の実施
率も平成17年度59.3%と盛んになってきています。

2. ロータリークラブのインターンシップ事業

2007 - 2008年度 RI 第2750地区では、平成19年1月
に東京都教育委員会と「インターンシップ事業に関
する基本協定」を締結し、相互に提携してインターン
シップ事業を実施していくこととなりました。事業の
提携は、ロータリーに属する企業の社会的貢献活動の
推進を図るとともに、東京都所管の都立高校における
キャリア教育を効果的に推進することを目的としてい
ます。今年度は、事業参加都立高校6校、参加希望生
徒668名となり、この内千代田グループでは、都立赤坂
高校115名の生徒の受け入れを引き受けることとなり
ました。インターンシップ事業とロータリーとの相性
は、ロータリーの職業奉仕と青少年育成の両方を合わ

せ持つロータリーらしい事業です。また、様々な職業の会員で構成されるロータリークラブだから提供できる社会貢献でもあります。

3. インターンシップ事業の課題と効果

(1) 受け入れ企業の確保と拡大

実施校数、参加生徒数の増加に伴い、受け入れ企業等の確保が益々必要となっています。

(2) 受け入れ企業との協力体制

教育的意義、実施目的、就職、採用活動との区別が必要です。また、実施中の巡回訪問の体制など、事前に十分な協議と相互理解が必要です。

(3) 安全管理の充実

安全教育の実施と、学校側では生徒の保険への加入等が必要です。

(4) ロータリー活動企業の受け入れ土壌を利用

長年、社会貢献活動を行ってきた大きな団体であるロータリーが受け入れを行なうことにより、インターンシップ等の連携事業がスムーズにスタートし、実施できます。

4. 千代田グループ各クラブの受け入れ状況

本日現在、都立赤坂高校生徒115名に対し、千代田グループ7クラブの受け入れ生徒人数は、約40名(内東京赤坂10名)です。職業奉仕、社会奉仕、そして新世代の若者を育成する責務のある我々ロータリアンは、この機会に是非インターンシップの活動に更なるご理解と絶大なる生徒受け入れのご協力をお願い致します。

渡部一元会員：「社会奉仕に当たって」

社会奉仕をよりよく理解し、参加するため、3点考えてみた。第一に、社会奉仕の成り立ちである。社会奉仕は奉仕の理想を広く社会生活全般に展開したものである。第二に、社会奉仕の範囲。社会奉仕の間口は大変広い。社会奉仕を英語でコミュニティ・サービスというが、コミュニティとは、社会全般を指す。第三に、社会奉仕にあたってのロータリアン一人一人の対応である。社会奉仕はロータリアンにとって体験であり、学習であることをしっかり認識する必要がある。ロータリアンの体験学習が、更なる社会奉仕の展開に繋がることになる。

5. 協議会に出席して：

大日方ガバナー補佐：

今日にいたるまで10回以上の研修をうけ、地区のさまざまな会議に参加するなど、大変な準備をしてまいりました。連日ある地区の会議では、さまざまな経験をし、しごかれております。今日は、ガバナー補佐の役目として参加させていただいています。講評については会長からお話いただいたので、コメントとして2つほど申し上げます。先ほどお話しに出てきた「社会奉仕とはコミュニティサービスである」ということなのですが、現在ではコミュニティーの考え方が、国際的な広がりを持って考えるようになってきている。そういう意味でいうと、国際奉仕と社会奉仕の区別がだんだんとなくなってきました。国際的な広がりをもって奉仕活動をしていくというのが、広い意味での社会奉仕活動になりつつあります。もう1つテーマとしてあがっている青少年交換についてですが、これはロータリー財団の活動として取り扱っています。ロータリー財団はロータリー財団で、私たちは応援していきます。ロータリー財団を除いた国際的な活動は社会奉仕の延長として一緒に考えてもいいのではないかと考えております。先ほどの姉妹クラブについても、社会奉仕活動の延長として、自分たちのペースでやっていったらいいと思います。もう1つ大きなテーマとなっていた高校生の交換留学生の問題ですが、これは地区全体でも大きな問題になっています。これをどういう風に上手く取り組んでいったらいい



いかというは、皆さん知恵を出していただいて、地区にも意見をいっていただいて、地区全体で改善していけばよろしいのではないかと思います。クラブ単位で考えた場合は、YES、NOをいっていただければいいのです。最終的にはクラブの意志で決めることです。十分な議論をしていただいて、クラブの取り組み方を考えていただけたらよろしいかと思います。1つ気になっていることがあります。申し上げたいと思います。出席率が悪いことです。この点については、芝RCや、新橋RC、みなとRC、レインボーRCなどは、積極的な活動をしています。この4つのクラブの親睦委員会などと意見交換をして、教えていただくのもいいのではないのでしょうか。

村山グループ幹事：

少しだけ感想を述べさせていただきます。本日のテーマで、青少年交換やインターンシップについては、地区との関係の中で考えていくべきものだと思います。クラブと地区の関係は、青少年交換やインターンシップなど大きな事業を行うにあたり、協力していかなければなりません。そういったこともあり、クラブにおいては、本年度は、地区のことを意識しながらやっていかなければならないと感じていました。クラブにおいても、地区との関係を意識し実践しながらやっていっていただければと思います。



9月21日/12件 25,000円/本年度累計273,400円
多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

小原健/フルート演奏楽しみにしております。荒木昭文/初めての普通の例会の夜間例会の出席率が良いですね。橋本年男/ニコスさん今日の演奏を楽しみにしています。大いに酔いしれたいと思ってます。岩上義明/暑さ寒さは彼岸過ぎても続いております。吉岡琢磨/田村さん昨夜は遅くまでお疲れ様。有難うございました。声がすっかりかれました。竹本孝三郎/皆さん今晚は。昨夜は左田次さんの歌舞伎を楽しんでまいりました。二次会も楽しかったです。お疲れ様。尾上寛/特に何も無し。尾関武男/田村さんニコニコ御苦労様です。飯島規之/藤井さんご苦労さまで。福島賢哉/まだまだ暑い日が続いています。秋の涼風が欲しい所です。藤井敬一/田村さんニコニコご苦労様です。田村昭二/本日の夜間例会大いに楽しみましょう。たくさんニコニコありがとうございました。

●次回予告/2007年10月3日(水) 第993回例会

RI第2750地区坂本俊雄ガバナー公式訪問

◎ガバナー・会長・幹事懇談会 10:00~12:00

ANA インターコンチネンタルホテル東京 1F「かげろう」

◎東京南RC・東京赤坂RC合同例会 12:30~13:30

ANA インターコンチネンタルホテル東京 B1F「ギャラクシー」

卓話予定

『ガバナー公式訪問にちなんで』

RI第2750地区ガバナー 坂本 俊雄 氏(東京八王子南RC)

※10月5日(金)の例会は10月3日(水)合同例会に振替ました。